



ときまわまつ

学びを支える習慣を

今だからこそ

校長 加藤 真寿美

満開だった桜の木々は、今ではすっかり若葉に覆われています。桃色の桜も美しいですが、緑色の葉桜も生命力にあふれ力強さを感じます。四月六日の始業式、入学手続きから一カ月が経過しました。子供たちとの学校生活を思い描きながら過ごす毎日です。

常磐松小学校には学習規律を示した「学びのスタンダード」があります。これは、

- ・話す・聞く
- ・学習の準備・姿勢・態度
- ・学習用具
- ・教室移動

の四点について約束が書かれたもの。一、二年生向けと三、六年生向けに分かれています。内容に違いはありませんが、三、六年生向けは、項目数が少し多くなっ

ています。

生活規律については「ときわまつの子」があります。こちらは、給食、そうじ、整理整頓など十一の項目について示してあります。

「規律」という言葉には、何か堅苦しい印象を受けるかもしれません。しかし、これらは集団生活の中で、誰もが気持ちよく学習や生活を送るための基本的なルールです。

このような習慣が身に付くように指導していく際に、大切にしなければいけないことは、「規律の押し付け」を避けるということです。それぞれの規律、ルールには、それらの必要性や守るべき理由があります。教師の都合で規律を決めているわけではありません。頭ごなしに指導をしているのは意味がありません。子供たち自身が、規律やルールが必要な理由を理解し、納得できるようにしなければなりません。

同時に、規律やルールを守ることが目的ではなく、規律やルール

によって、学習に集中したり、楽しく学校生活を送ったりすることが目的であることを忘れてはなりません。

その点を子供も教師も保護者もみんなが共通理解することが重要です。常磐松小学校では今までの継続した取り組みにより、良い習慣が付いていることを今後も継承していきます。

さて、5月以降の予定ですが、依然先行きが不透明な状況のため、変更や延期、中止等の対応をせざるを得ません。また、学校再開後も全校での活動や密閉・密集・密接の条件にあたる活動を避けるなど、様々な制約が生じることと考えています。特に、学習面での課題は大きく、さらには、子供たちの心身の健康への影響も危惧しています。しかし、嘆いているばかりでは、状況は改善できません。今できることに目を向けて、着実に前進していけるようにしていきます。

そこで、保護者・地域の皆様にご協力をお願いいたします。子供たちが通常の学校生活と同様に過ごすことができるよう、声掛け・見守りを継続してください。

家庭学習については、今までは復習を中心に行い3月の休校中の学習を含めて前学年の学習について

はほぼ終えることができました。今後については、現学年での学習を中心に進められるよう工夫してまいります。一年生にも配布済みのタブレットを効果的に活用していきますので、扱い方に慣れていない場合にはホームページの活用の方を確認していただき、子供たちが自分で操作できるようになるまで支援をお願いいたします。

また、規則正しい生活が維持できるように、学校生活の日程に合わせて帰りの会が終わるまでは、学習時間です。配信される課題に合わせ学習を進めるようにさせてください。時間に余裕のある時は、自分で学習計画を立てることも今後の力になります。適度な運動やリラックスタイムも取り入れながら、生活リズムを整えてください。

この期間に大事なことは、今まで培ってきた良い習慣を継続していくことです。子どもたち自身が今の状況を理解し、自分がすべきことをしっかり行うためのサポートをお願いいたします。今は大変困難な時期ですが、今だからこそご家庭のご協力を仰ぎながら、生涯の学びの基礎となる学習規律・生活規律をしっかり身に付け、学校再開に向けての準備を整えていただきたくお願いいたします。